

## 第2節

## 塾・習い事・通信教育

習い事をしている幼児は全体で57.5%にのぼる。10年前と比較すると「英会話などの語学の教室」の伸びが大きい。1～3歳児では、「月1回程度、定期的に教材が送られてくる通信教育」「スイミングスクール」「児童館などの公共施設を利用した自治体主催の教室・サークル活動」の人气が高く、4～6歳児では、「月1回程度、定期的に教材が送られてくる通信教育」「スイミングスクール」「スポーツクラブ・体操教室」「英会話などの語学の教室」などが高くなっている。

## ● 習い事をしているのは全体の57.5%

幼児期に、何らかの習い事や通信教育をする比率は、00年では49.4%であったが、05年では57.5%となり、8.1ポイント増加した(表1-2-1)。また、これを年齢別でみたところ、いずれの年齢でも習い事をしている比率は高くなっている。とくに、2歳児では26.8%から37.3%と、10.5ポイント増えている。また、3歳児では過半数に達しており、習い事の開始が低年齢化する傾向がみられる。さらに、05年の6歳児では85.5%と、8割を超す幼児が習い事をしている。

## ● 人气が高いのは「通信教育」「スポーツ」

習い事の種類をみると(図1-2-1)、05年で比率が高かったのは「月1回程度、定期的に教材が送られてくる通信教育」(18.8%)、「スイミングスクール」(17.5%)である。

00年との比較では「英会話などの語学の教室」「教材を一括して購入する教材」の伸びが大きい。「英会話などの語学の教室」は、5.0%から14.2%と9.2ポイント増加しており、「教材を一括して購入する教材」は、2.1%から6.4%と4.3ポイントの増加である。そのほかの習い事は、いずれも00年と比較して、わ

■表1-2-1 習い事をしているか(全体 子どもの年齢別 5年比較)

	(%)	
	00年	05年
全 体	49.4 (1601人)	57.5 (2297人)
1 歳児	23.3 ( 175人)	25.1 ( 303人)
2 歳児	26.8 ( 481人)	37.3 ( 740人)
3 歳児	42.0 ( 251人)	50.9 ( 340人)
4 歳児	47.2 ( 226人)	54.9 ( 312人)
5 歳児	68.6 ( 230人)	75.1 ( 326人)
6 歳児	75.7 ( 238人)	85.5 ( 276人)

注1) ( )内はサンプル数。

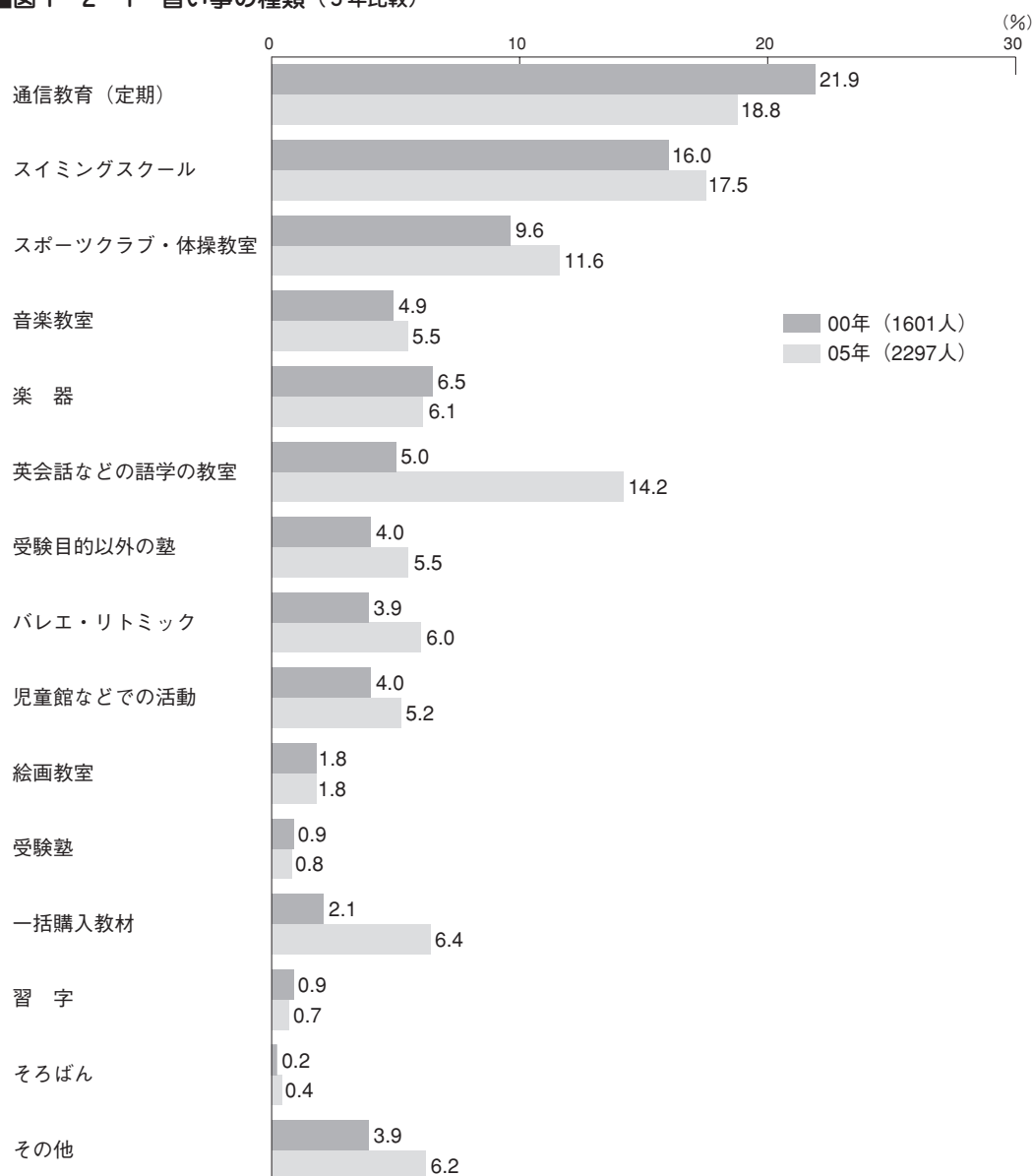
注2) 習い事を「している」の%。

ずかな変化にとどまる。下がり幅が最も大きいのは「月1回程度、定期的に教材が送られてくる通信教育」で、21.9%から18.8%と3.1ポイントの減少である。年齢別にみても、いずれの年齢で減少している（図表省略）。

習い事の種類を年齢別にみたところ（図1-2-2）、「英会話などの語学の教室」では、3歳児で9.9%とほぼ1割になり、5～6

歳児では2割を超えている（5歳児20.8%、6歳児23.2%）。「スイミングスクール」も「英会話などの語学の教室」と似た傾向だが、5歳児で26.8%、6歳児で29.0%となり、5～6歳児の伸びが大きい。「月1回程度、定期的に教材が送られてくる通信教育」は、0歳児で11.9%、6歳児では26.4%となっている。「児童館などの公共施設を利用した自治体主

■図1-2-1 習い事の種類（5年比較）



注1) 複数回答、「その他」を含む15項目の中から選択。

注2) すべての項目は略記している。詳細は「調査票見本」(p.119)を参照のこと。

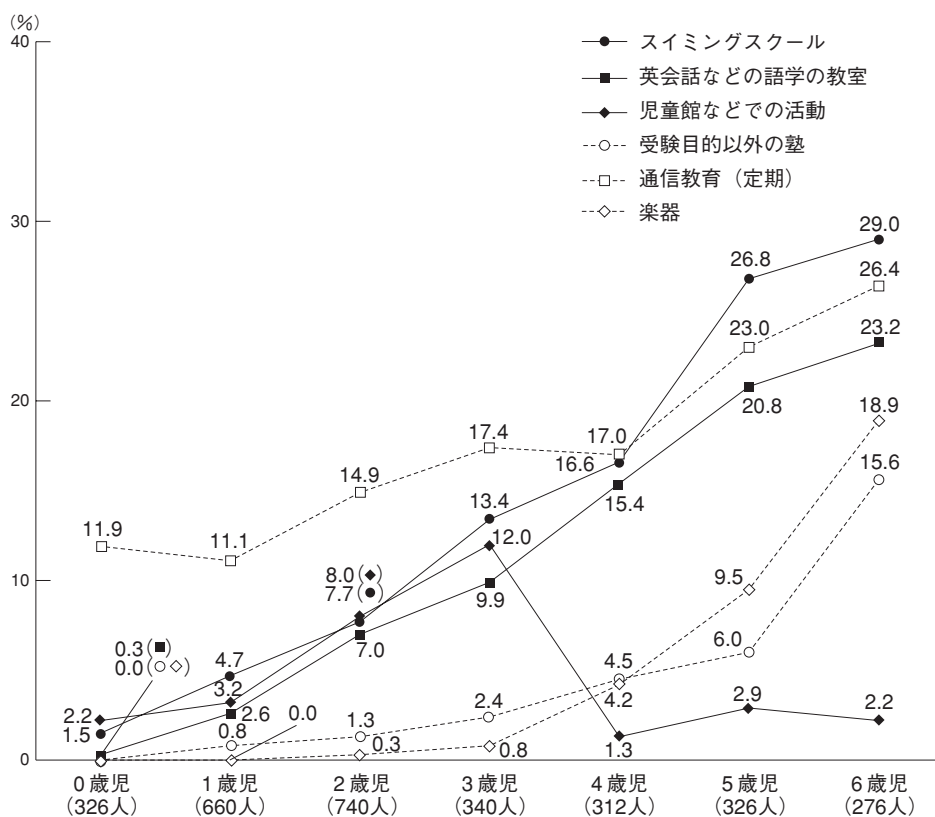
催の教室・サークル活動」は、3歳児で12.0%であるが、4歳児になると1.3%に減少しており、3歳児以下の低年齢で活用されているようである。6歳児で増える傾向にあるのは「受験目的ではない学習塾や計算・かきとりの塾」「楽器（ピアノやバイオリンなどの個人レッスン）」である。「受験目的ではない学習塾や計算・かきとりの塾」の場合、5歳児では6.0%だが、6歳児で15.6%となり、9.6ポイントの増加となっている。

## ●年齢別の習い事の種類推移

表1-2-2は、各年齢別に習い事の種類をたずねた結果を00年と比較したものである。

1～3歳児の年齢で比率が高いのは、「月1回程度、定期的に教材が送られてくる通信教育」「スイミングスクール」「児童館などの公共施設を利用した自治体主催の教室・サークル活動」である。「英会話などの語学の教室」

■図1-2-2 習い事の種類（子どもの年齢別 05年）



注1) 複数回答、「その他」を含む15項目の中から選択。

注2) 0歳6か月～1歳5か月の乳幼児をもつ保護者の回答を含む。

注3) すべての項目は略記している。詳細は「調査票見本」(p.119)を参照のこと。

注4) 15項目中6項目を図示した。

は、05年では2歳児7.0%、3歳児9.9%で、3歳児の10人に1人の割合となっている。「教材を一括して購入する教材」は、低年齢での伸びが大きく、1歳児の場合は00年で1.7%、05年で5.2%となり、3歳児では表に出ていないが、00年で4.3%、05年で8.5%となっている。

4～6歳児では、05年の傾向として「月1回程度、定期的に教材が送られてくる通信教育」と「スイミングスクール」「スポーツクラブ・体操教室」などのスポーツ系、「英会

話などの語学の教室」の比率が高い。6歳児になるとスポーツ系の習い事の比率が高くなり、「スイミングスクール」29.0%、「スポーツクラブ・体操教室」28.5%となっている。近年、地域で運営するサッカークラブや野球クラブの活動が盛んになっており、そのような活動も「スポーツクラブ・体操教室」に含まれていると思われる。

■表1-2-2 習い事の種類（子どもの年齢別 5年比較）

		(%)	
		00年	05年
1歳児 (175人・303人)	1. 通信教育（定期）	19.3	9.6
	2. 児童館などでの活動	2.3	5.6
	2. スイミングスクール	2.3	5.2
	4. 一括購入教材	1.7	4.6
2歳児 (481人・740人)	1. 通信教育（定期）	14.7	14.9
	2. スイミングスクール	5.0	8.0
	3. 児童館などでの活動	4.8	7.7
	4. 一括購入教材	2.5	7.0
3歳児 (251人・340人)	1. 通信教育（定期）	20.2	17.4
	2. 児童館などでの活動	9.6	13.4
	3. スイミングスクール	8.7	12.0
	4. 音楽教室	5.6	9.9
4歳児 (226人・312人)	1. 通信教育（定期）	18.3	17.0
	2. スイミングスクール	12.8	16.6
	3. 音楽教室	6.1	15.4
	4. 英会話などの語学の教室	6.0	7.1
5歳児 (230人・326人)	1. 通信教育（定期）	27.3	26.8
	2. スイミングスクール	26.5	23.0
	3. スポーツクラブ・体操教室	21.1	21.0
	4. 楽器	13.1	20.8
6歳児 (238人・276人)	1. スイミングスクール	34.0	29.0
	2. 通信教育（定期）	30.1	28.5
	3. スポーツクラブ・体操教室	20.1	26.4
	4. 楽器	18.9	23.2

注1) ( ) 内はサンプル数（00年・05年）。

注2) 複数回答、「その他」を含む15項目の中から選択。

注3) すべての項目は略記している。詳細は「調査票見本」(p.119)を参照のこと。

注4) 子どもの年齢別にみたときの上位4項目について表示した。

## ● 幼稚園児で高い習い事率

性別にみると（表1-2-3）、男子ではスポーツ系（「スイミングスクール」「スポーツクラブ・体操教室」）、「英会話などの語学の教室」「月1回程度、定期的に教材が送られてくる通信教育」が高い。女子では、男子で高いものに加えて「バレエ・リトミック」（8.7%）も高い。「英会話などの語学の教室」は、男子10.5%、女子14.0%で女子のほうが3.5ポイント高い。就園状況別にみると（表1-

2-4）、幼稚園児と保育園児で習い事をしている比率が大きく違う。習い事を「何もしていない」のは、3～5歳クラス児だと幼稚園児22.8%、保育園児44.3%であり、保育園児のほうが21.5ポイント高い。0～2歳クラス児では、未就園児で「何もしていない」のは56.7%で、同年齢の保育園児77.8%よりも21.1ポイント低い。保育園児は、在園時間が長いと、習い事をする時間も限られることから、幼稚園児や未就園児よりも習い事の比率が低いと思われる。

■表1-2-3 習い事の種類（子どもの性別 05年）

男子（1490人）		女子（1490人）	
1. スイミングスクール	17.3	1. 通信教育（定期）	18.7
2. 通信教育（定期）	17.0	2. 英会話などの語学の教室	14.0
3. スポーツクラブ・体操教室	12.4	3. スイミングスクール	13.1
4. 英会話などの語学の教室	10.5	4. バレエ・リトミック	8.7
5. 一括購入教材	5.5	5. 楽器	7.7
何もしていない	50.3	何もしていない	46.0

注1）複数回答、「その他」を含む15項目の中から選択。

注2）すべての項目は略記している。詳細は「調査票見本」（p.119）を参照のこと。

注3）子どもの性別にみたときの上位5項目について表示した。

注4）0歳6か月～1歳5か月の乳幼児をもつ保護者の回答を含む。

■表1-2-4 習い事の種類（0～2歳クラス児・3～5歳クラス児 就園状況別 05年）

未就園児（0～2歳クラス児）（1078人）		保育園児（0～2歳クラス児）（205人）	
1. 通信教育（定期）	15.8	1. 通信教育（定期）	10.4
2. 児童館などでの活動	10.6	2. スイミングスクール	6.8
3. スイミングスクール	10.0	3. 一括購入教材	5.1
4. 英会話などの語学の教室	8.2	4. 受験目的以外の塾	1.6
5. 一括購入教材	6.9	5. 英会話などの語学の教室・音楽教室	1.1
何もしていない	56.7	何もしていない	77.8
幼稚園児（3～5歳クラス児）（695人）		保育園児（3～5歳クラス児）（163人）	
1. スイミングスクール	25.6	1. 通信教育（定期）	23.3
2. 通信教育（定期）	22.4	2. スイミングスクール	22.8
3. スポーツクラブ・体操教室	22.3	3. 英会話などの語学の教室	13.5
4. 英会話などの語学の教室	21.3	4. 楽器	9.5
5. 楽器	11.9	5. 一括購入教材	7.4
何もしていない	22.8	何もしていない	44.3

注1）複数回答、「その他」を含む15項目の中から選択。

注2）すべての項目は略記している。詳細は「調査票見本」（p.119）を参照のこと。

注3）就園状況別にみたときの上位5項目について表示した。